

高崎観光協会 会報

縁起のいいまち 高崎

秋号
Autumn
VOL.140

2017

スズラン百貨店 高崎店
商都高崎 西の拠点



「縁起のいいまち高崎」高崎観光協会 会報 秋号 (第140号) 平成29年10月1日発行



7階屋上「みどりの広場」



商都高崎 西の拠点

スズラン百貨店 高崎店

今年、創業65周年を迎えたスズラン百貨店。デパ地下グルメ、ファッション、コスメ、靴、バッグ、リビング用品、レストランなど、一店舗で色々揃う百貨店の魅力と地元発の親しみやすさで、モノ・コト・サービスを提供している。

そして、スズラン百貨店高崎店は来年50周年を迎える。半世紀にわたり消費者ニーズをけん引し、お客様の心に満足や喜び、温もりを灯し続けてきた。

「SUZURAN」の「S」をスズランの花に重ねてデザイン化したシンボルマークは、まるで高崎のまちなかに灯されたロウソクの炎のようにも見える。

次代を照らす灯になる。そんな想いでつないでいく。



スズラン 高崎店

高崎市宮元町 13-1 TEL: 027-326-1111

営業時間 10:00 ~ 19:00



匠の技が光る伝統工芸品は、使うほどに愛用品になる

空中公園は都市のオアシス

白衣大観音が鎮座する観音山丘陵。妙義山に浅間山、榛名山……。屋上からの清々しい眺望が広がる。周囲には高崎市役所をはじめ高崎城址公園、群馬音楽センター、市立中央図書館、もてなし広場などがあり、スズラン高崎店は、公的機関や文化施設、憩いの空間に隣接した立地であることを改めて感じさせられる。

7階屋上の「みどりの広場」には、針葉樹や季節の草木が植えられ、かすかな香りを発し、虫の気配も感じられる自然味あふれる空中公園となっている。幼児向けのコイン式遊具や、親子2名乗車で2周100円のミニ鉄道が敷かれ小さな子ども連れにうれしい遊び場となっている。隣接の子ども販売場でのショッピングの合間に利用するものもよし、ここを目的に遊びに来るもよし、地上36メートルの空中公園、都市の隠れたオアシスは、大人にとってもうれしい気分転換の場所になる。

昭和40年代

開店当時のまちなか

スズラン高崎店の屋上から高崎市街を眺めると、新しい高層マンション

ンや立体駐車場が立ち並び、大通りや細い路地などが血管のように巡っている様子がわかる。街は新陳代謝を繰り返し、時代の流れにあらがうことなくその姿を変えてきた。

開店は、昭和43年（1968）11月。来年でちょうど半世紀が経過する。その4年前の昭和39年には高崎初の百貨店として地元資本による「藤五百貨店」が華々しくオープンしていた。高度経済成長を迎え、日本中が景気拡大に沸き、交通の要衝で集客力のある商都高崎が、商圏としての魅力を増していた時代。百貨店の出現に地元の経済界は脅威を感じながらも、仕入れを地元の卸売業者から行なうことを条件にし、東京などに流れる地元の消費者を引き戻せるといったことから歓迎した。

また、スズラン高崎店が面する同じ大手前通りのはず向かいに、地下1階、地上9階、延べ二千坪の「中央ビル」が建設され、商業施設としてオープンしたのは、スズランのオープンの半月ほど前のこと。9階には45分で一周する直径16メートルの円形展望台「スカイラウンジ」が、北関東で初、全国で9番目に登場した。

一方、スズラン高崎店は、地下1

階、地上8階、延べ4千坪。地下1階は食料品売り場、1階は子供用品と雑貨、2階は婦人服その他、3階は紳士服とおもちゃ、4階は呉服と寝具、5階は家庭用品と電化製品、6階は食堂と催し場、屋上は遊び場で8階まで展望台というフロア構成でスタートした。

この2つの商業施設が相前後して開店すると、藤五百貨店から鞆町広小路にかけて動いていた買い物客の流れがスズランまで延長され、そ



◀ オーダーメイド枕を作りたいという要望に応えるピローアドバイザー

の年のえびす講市では、買い物客でこった返した。

昭和50年後半 地域一番店に

昭和51年（1976）にニチイ、ダイエー、翌年の高崎高島屋の出店により、商業の重心は高崎駅前に大きく移動した。中心市街地の大型店の撤退や、モーターゼーションを背景とした郊外化が進み、商業統計の販売額構成比は、昭和54年に郊外（新市内）51%、中心部（旧市内）

49%と逆転した。

昭和56年に「中央ビル」が閉店し、昭和60年に藤五伊勢丹が撤退すると、高崎駅西口の大型店の集中が一極を形成し、まちなかのもう一つの極として、スズラン高崎店の存在がクローズアップされた。駅周辺と高崎城址地区にあるスズラン高崎店を2つの極として、その間に広がる商店街に人の流れを呼び込み回遊性を高める。地元経済界はこんな商業地図を描いた。スズラン高崎店は昭和50年代後半には既に地域一番店に成長した。

地元の老舗百貨店の存在感

スズラン百貨店は、地域密着の姿勢を貫き、地元志向と半歩先行く提案型の絶妙なバランスを発揮してきた。都市型百貨店とは一線を画すコンパクトな組織構成で、顧客の声やニーズにスピード感と柔軟性をもって対応するクイックレスポンスを強みに、他の商業施設との差別化を図ってきた。

半世紀にわたる歳月が老舗百貨店としての風格に磨きをかけ、いつもそこにある安心感や居心地の良さで支持されている。

また、烏川と並行して走る国道17

号線から、わずか数百メートルという距離にあり、駐車場も周辺に十分整備されていることから、車利用者には郊外型店並に便利だ。

そして外せないのが、「スズランカード」。全国トップクラスの還元率を誇り、「買い物するならスズランで」という根強いファンを獲得している。

まちなかと連携した外国展の開催

もてなし広場などと隣接する立地を活かし、地域のイベントと連携して、百貨店ならではの厚みのある情報発信を展開する。

「パスタの街たかさき」を代表する人気イベント『キング・オブ・パスタ』の開催に併せて行う「イタリア展」もその一つ。昨年は、大手前通りにフラッグを掲げ、イタリアの食材やスイーツを販売。有名な落合シェフのレ스토랑「ラ・ベッタラ・ダ・オチアイ」のパスタ料理を堪能しながらワインを楽しむ企画が好評だった。

そして、今年9月に開催した『英国フェア』。スズラン65周年とエリザベス女王在位65周年が重なったタイミングで、初めての試みとなった。ウェッジウッドのティーカップ

やタータンチェックのストール、パディントンぬいぐるみ、スコッチウイスキー、紅茶、スコーン、他にも由緒正しい英国の魅力の品々が並んだ。2階の催事場では『アンティーク・ビンテージ・バザール』を開催し、西洋骨董鑑定士の岩崎絢昌氏のトークショーやアンティーク商品の販売を行った。また、店舗前のタブノキ広場では、路上ライブを支援する「高崎おとまちプロジェクト」と連携し、ビートルズナンバーを中心としたライブを繰り広げるなど、英国一色ムードを盛り上げた。

リビングフロアが面白い、先人の知恵が現代人を豊かにする

厳選された良質な品を提供する。それが百貨店の真骨頂だが、ファッションのカジュアル化などが進んだこのご時世では、百貨店での衣料品の購入は、おしゃれや晴れの日など特別な日の装いに限るといった声も多く聞こえてくる。

その分、趣味や香り、食器、キッチン用具や寝具など、こだわりの品への消費は惜しまない傾向がある。多様化するニーズに百貨店ならではの質提案が求められている。そういう意味で、6階のリビング





週末はお父さんたちの姿も目立つ生鮮食品売り場



今秋から登場のフレグランスコーナー



全国の銘菓が色々見つかる「諸国銘菓」コーナー



地元のとこ焼き・今川焼屋さん「かんだろう」



4階のイタリアンレストラン「ボンジョルノ」
初代・キング・オブ・パスタのチャンピオン

のフロアが興味深い。上品な香りに誘われ、思わず足を止めてしまう「メゾン・ド・フレグランス」は、この秋より新設されたコーナー。香りが広がるディフューザーはインテリア性も高く、リビング、玄関、寝室等、どこに置いても様になる。プライベートタイムを自分好みの香りに包まれゆったり過ごしたいという人にお勧めだ。

また、冷めてもご飯がふつくらおいしいと、近頃弁当女子や男子に人気なのが伝統工芸品の「曲げわっぱ弁当」。鉄分補給や長く使えるという点で新たに注目を集め、繊細な肌質と重厚感のある味わいが魅力の「南

一番の活気はデパ地下にあり

部鉄器」。こうした日本が誇る伝統工芸品の提供は、豊かな暮らしへの提案として消費者と産地をつなぐとともに、産地を守るという意味でも、百貨店が担う役割といえそうだ。

地下1階の食品売場は、主に青果・精肉・鮮魚の生鮮三品を、日々の食卓に届ける「スーパーマーケット」として、まちなかに暮らす人たちの台所を潤している。特に、和洋中などバリエーション豊富な惣菜売場は、仕事帰りの人々が忙しく買い物をする姿が目立つ。4階に入っている地元筑縄町に本店を持つイタ

リアンレストラン「ボンジョルノ」のパスタやピザをテイクアウトとして購入できるのもうれしい。

家族連れでにぎわう週末は、地元発の「かんだろう」の今川焼を購入し、レストスペースでイートイン。甘いクッキーの香りを漂わせる「ステラおばさんのクッキー」は併設のカフェでゆっくり味わうこともできる。高崎発のナショナルブランド・ガトーフェスタハラダの「ゲート・デ・ロワ」は、自宅使いはもちろん、お土産としても根強い人気だ。

また、商品の品揃えに力を入れているという「諸国銘菓」のコーナーでは、東京・京都・神戸・愛知など他

県銘菓が並び、好きな銘菓を小分けで購入すれば、味覚の諸国漫遊が楽しめる。

スズラン高崎店のレストランや食品売り場は、周辺の企業や官庁に務めるサラリーマンにとっても、働くエネルギー補給に欠かせない存在であるとともに、地元へ寄り添う百貨店として商都高崎の西の拠点となっている。

北関東最大級のファッションビル 『高崎オーパ』10/13 [FRI] OPEN

高崎じまん
開運たかさき食堂 本店

10月13日(金) オープン

●高崎駅西口前『高崎オーパ』
1F: 高崎じまん 7F: 開運たかさき食堂 本店

高崎観光協会プロデュース
『高崎じまん』と『開運たかさき食堂 本店』も
同時 OPEN !!

高崎オーパ 1F 8:00~21:00

高崎じまん
TAKASAKI JIMAN



高崎がオススメする“じまん”の逸品をいっぱい集めたセレクトショップ。地元で人気のスイーツやもらって嬉しいお土産品、採れたての新鮮野菜など、高崎の魅力がいっぱい詰まった商品を取り揃えています。

定番のものから、
話題の商品まで
“じまん”の逸品
セクション
(一部抜粋)



だるま弁当 1,000円 (高崎弁当株)



期間限定

ちこもち 324円 (微笑庵)



高崎ほるもん 480円 (樹オルビス)



朝どら 150円 (丁子堂房右衛門)



二十年成熟梅干し 2,160円 (ゆあさ農園)

高崎オーパのオープンに伴い、高崎観光協会プロデュースの「高崎じまん」(1階)と「開運たかさき食堂本店」(7階)が同時オープンします。人気商品から定番まで高崎産の逸品を集めた物販コーナー「高崎じまん」、焼きまんじゅうやパスタなど高崎のうまいものを集めた飲食コーナー「開運たかさき食堂本店」。物販コーナー「高崎じまん」は人気商品から定番まで高崎産の逸品が集結、飲食コーナー「開運たかさき食堂本店」では焼きまんじゅうやパスタなど高崎のうまいものが一度に楽しめます。「縁起のいいまち高崎」の魅力(味力)を発信する新スポットが誕生します。お出かけの際にはぜひお立ち寄りください!

高崎オーパ 7F

11:00~23:00 (L.O.22:00)

本店

開運 たかさき食堂

「縁起だるま」「榛名神社」「白衣大観音」・・・全国から人々が訪れる人気のパワースポットと縁起物のあるまち高崎。そんな高崎のうまいものを食べれば、きっと開運まちがいなし!! 是非、「開運たかさき食堂本店」で高崎の食をお楽しみください!



高崎小籠包



高崎名物焼まんじゅう



高崎もつ煮



高崎シャンゴの Pasta

●お問い合わせ: (一社) 高崎観光協会 TEL.027-330-5333

The event of autumn of Takasaki

高崎アリーナ

(高崎市新体育館)

ビッグイベント目白押し! (2017/11月~2018/3月)



●第9回チアリーディング世界選手権大会 11月11日(土)・12日(日)

第1回(2001年)、第3回(2005年)大会以来12年ぶりに、チアリーディング世界選手権大会が国内で開催され、高崎アリーナが会場となります。日本代表選手や世界のチアリーダー達の演技をぜひご覧下さい。

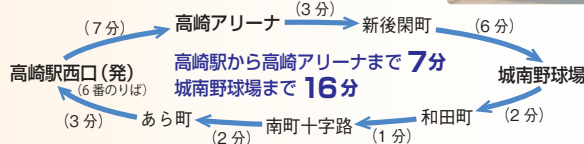
〈観覧有料〉

高崎アリーナ開催の主な大会

- 女子レスリングワールドカップ 〈観覧有料〉
2018年 3/17(土)・18(日)
- 第49回全国ミニバスケットボール大会 2018年 3/28(水)~3/30(金) 〈観覧無料〉
- お問い合わせ: 高崎アリーナ TEL.027-329-5447

会場へはシャトルバスのご利用が便利

「高崎アリーナシャトル」がおおよそ15分間隔で1日55便運行。
始発は8:00発 最終便は21:30発
●運賃: 一般100円、小学生以下50円。



●第71回全日本体操団体選手権 11月25日(土)・26日(日)

男女それぞれ16チームが参加し、日本一の座を争います。2017年を締めくくる本大会。リオ五輪メダリストやモントリオール世界選手権に出場する日本代表選手も参戦。日本を代表するトップ選手の演技にも注目です。

〈観覧有料〉

CONCERT

高崎光のページェント 2017

65万球の煌めき
光が織りなす幻想的な空間



11月23日(木)~1月8日(月・祝)

●シンフォニーロード・高崎城址公園周辺ほか
点灯時間: 17:00~22:00 (※金土日は~24:00)

高崎の冬を鮮やかに彩る「高崎光のページェント」は、今年で24回目の開催を迎えます。メインスポットである城址公園・お堀では、水面に映る多彩なイルミネーションが来場者の視線を惹きつけます。揺らめく光のボール、音と光のショー、木々の隙間に隠れる動物のモチーフや星形のイルミネーションなど多彩な光の演出が見どころです。

また、駅前通りにはウィンドグラスに装飾された街路樹が立ち並び、音楽センター東側の芝生広場では子ども達の制作する光のキャンバスが展示されます。

〈観覧無料〉

●お問い合わせ: 高崎光のページェント実行委員会 (高崎観光協会内)
TEL.027-330-5333



THE DAY IN QUESTION 2017

12月23日(土・祝)

伝説のバンド“BUCK-TICK”
デビュー30周年

●高崎アリーナ
16:00開場 17:00開演

全国ツアーで高崎に凱旋!!



今年9月にデビュー30周年を迎えたBUCK-TICKが、全国ツアー「THE DAY IN QUESTION 2017」をスタートさせました。代表曲からレアな曲まで普段のツアーでは聴けない選曲でお送りするスペシャルライブのため、人気は必至。メンバーの故郷である高崎市においても、12月23日(土・祝)高崎アリーナでライブが開催されます。どうぞお見逃しなく。

●お問い合わせ: 高崎アリーナ TEL.027-329-5447

EVENT



高崎はコロッケの街

糸山さんも絶賛する高崎コロッケ



寺田精肉店本店 (左) 平井精肉店 (右)



●寺田精肉店 本店 / 高崎市鍛冶町 1-35
営業時間: 11:00 ~ 1:30 16:00 ~ 19:00
定休日: 日曜日 (駐車場はなし)
電話: 027-322-5979



●平井精肉店 / 高崎市大橋町 7-18
営業時間: 10:00 ~ 19:00
定休日: 日曜日・祝日 (店舗裏に駐車場有)
電話: 027-322-3625

「縁起のいいまち高崎」高崎観光協会 会報 秋号 (VOL.140) / 平成 29 年 10 月 1 日発行
発行 / (一社)高崎観光協会 / 高崎市 / 豊町 7-2 (豊町 7-2 番) / TEL: 027-330-5533 / http://www.takasaki-kankoukyukai.or.jp
●制作 / 株式会社フランスロード社

●レベルの高い高崎コロッケ
安くておいしいコロッケは庶民の味である。サクサクのところも、じやがいものホクホクした食感で、素朴であるがゆえに、ごまかしがきかない。
高崎在住の芥川賞作家、糸山秋子さんは、コロッケをこよなく愛しているようで、食のエッセイ『豚キムチにジnkクスはあるのか』(2007年マガジンハウス)の中で、高崎コロッケのレベルの高さについて言及している。

●80年続く老舗「寺田のコロッケ」
高崎の老舗、寺田精肉店のコロッケは「寺田のコロッケ」と呼ばれるブランドである。南銀座商店街の一角にたたずむ店舗は、昔ながらの雰囲気がつぶぶりで、「肉の寺田」と書かれているのが目印だ。コロッケの価格は1個70円、おやつや部活帰りにぴったりだ。

●高崎名物「オランダコロッケ」
高崎名物と銘打ち、観光スポットにもなっている「オランダコロッケ」の平井精肉店。西暦2000年に高崎市が市制100周年を迎え、記念事業の一環として「オランダフェスタ」が開催されたのを機に、名物商品として「オランダコロッケ」が誕生した。

●素朴な味わいの寺西精肉店
高崎が生んだコロッケバンド BOWWのヴォーカリスト氷室京介さんの実家は、かつて精肉店を営んでおり、コロッケがとてもおいしかったという。既に氷室さんの実家の店舗はないが、血縁の「寺西精肉店末広支店」は健在。素朴で飽きのこないコロッケ、チーズの入ったオランダコロッケも食べられる。
■寺西精肉店末広支店 高崎市末広町65。
営業時間: 午前9時~午後7時、揚げ物はお昼と夕方、定休日: 日曜・祝日。
電話: 027-323-5998 (駐車場有)

●揚げたてアツアツが一番
精肉店なのでテイクアウトとなるが、コロッケのほかにも、もちろんハムカツ、メンチ、クリームコロッケ、トンカツなど魅力的なラインアップが揃っている。創作バリエーションも豊富で揚げたてが何と言ってもおいしい。気軽に立ち寄り、高崎の食へ歩きにお勧めのご当地グルメである。

でも「高崎に対抗できるコロッケとは出会えなかった気がします」と述べ、高崎を「コロッケの街」と書いている。コロッケは高崎自慢、高崎名物である。

寺田精肉店は、昭和8年(1933)に創業した80年以上続くお店である。高崎で初めて揚げ物を販売したとも言われ、寺田の名前を世に知らしめたのが名物コロッケであった。

会が主催のコロッケグランプリ・バラエティー部門でこのオランダコロッケが2013年、2014年の2年連続で金賞を受賞。店舗には高崎が誇るブランド「高崎ハム」の電照看板が掲げられている。